

# 藤田議員の一般質問



## ストーマ装具者に対する支援改善を検討

### 米原市民報

日本共産党米原市会議員  
山脇正孝 Tel.52-1093  
日本共産党米原市会議員  
藤田正雄 Tel.55-1527

<http://www.jcp-maibarashigidan.com/>

#### 藤田議員の一般質問

#### 山東幼稚園廃止条例を問う

Q、多くの市民が山東幼稚園の認定こども園化を求めていることについてどう判断されたか。

A、認定こども園に変更するなど施設の継続を希望する意見があったことは認識しています。しかし、山東幼稚園の周辺の教育・保育環境については、認定こども園長岡学園や大原保育園、いぶき認定こども園などがあり、受入が可能な状況です。山東幼稚園を認定こども園にすることは、地域内の施設間で利用者が分散され、各施設において「集団の規模」の維持が困難になることが予想されま

す。

Q、市西部に新たな民間こども園の設立が検討されていますが市全体で検討すべき

A、今年8月1日時点の市内の入所率は、充足している。しかし、住宅開発の進行や低年齢児の保育需要の高まりに伴いまして、需要の増加が見込まれる地域もあり、民間保育施設の誘致に向けて準備を進めているところです。市として公的な責任は果たしています。

Q、子育て支援策が自治体の活性化の条件であると言われるが今後の米原市と山東地域の発展は。

A、子育て支援策の充実によって、地域の活性化や発展につながるという考えについては同意いたします。

山東地域の保育の受け皿が充足している現状や少子化の進行などの状況を踏まえ、総合的な判断のしたものです。

Q、仮に幼稚園が廃止され

9月定例会の一般質問が6・7日行われ14人が行いました。共産党市議団の藤田議員は6日5番目に一般質問を行い、7日最後の14番目に山脇議員が行いました。

た後の施設の活用について、どのように考えるのか。

A、子育て世代からも望まれる場所にするなど有効活用に向けて、今後構想づくりに着手してまいりたいと考えております。

#### 加齢性難聴者に補聴器補助を

Q、米原市内の現状について市は把握しているのか

A、加齢による難聴者の人数については、本市においては把握しておりません。

Q、装着率が悪い原因は。

A、補聴器の使用についての理解が十分でなく、良いイメージを持っておられないことや症状が自分では気づきにくいといったことが原因と考えています。

Q、障がい者制度はハードルが高い。加齢性難聴者に対する専門的な相談窓口はあるのか

A、難聴が疑われる方には、まず、早期に医療機関を受診していただくことが大切です。高齢者の方を支える窓口として地域包括支援センターを設置しておりまして、高齢者の方のあらゆる相談に応じています。

Q、装着率が低い原因は、補聴器の金額が高いこと。購入の補助制度を

A、補助制度については、公的補助に対する市民の理解、財源の確保などに課題が多いと考えておりますので、市として単独補助は困難であると考えています。

#### ストーマ装具者補助の改善を

Q、米原市のストーマ装具の利用者の現状は

A、人工肛門装具の利用者

の方は61人、人工膀胱装具の利用者の方は10人です。

Q、ストーマ装具者に対する補助制度の改善が必要。

A、1割負担となつているが、その限度額を超えている利用者は人工肛門装具の利用者の方は14人、人工膀胱装具の利用者の方は該当がないという状況です。

Q、価格の高騰についての市としての対応は。

A、一部の取扱業者が、コロナ禍における物価高騰の影響によりまして、10月から価格の改定を行うとの情報を得ておりますので、特例給付の上限額の見直しや上乗せ事業など、必要に応じて施策を検討しています。

Q、公共施設でのオストメイト対応トイレの状況は。

A、正確な数を把握していませんが、日本オストミー協会の公式ウェブサイトで、市内7か所あります。昨年開庁した米原市役所本庁舎には、各階に多目的トイレを整備しておりますが、その内3か所の多目的トイレでオストメイト対応をしています。

Q、今後の公共施設等でのオストメイト対応トイレへの改修計画は。

A、第3期障がい者計画では、具体的数値目標はありませんがユニバーサルデザインのまちづくりとして、公共施設等のバリアフリー化の推進に取り組んでいきます。これからも公共施設の整備に当たっては、だれもが利用しやすく、障がいのある人も無い人も安心して豊かに暮らせる環境づくりに、引き続き取り組んでまいります。

